

「特別の教育課程」の編成と実施計画【記入例】

(学校設置者に提出する指導計画・報告)

「報告」の記入例も
本シートを参照のこと。

令和〇年度 特別の教育課程編成・実施計画(参考様式)

この様式例にこだわることなく、従来の名簿等を
適宜改良して活用したり、すでに作成済の様式を
活用したりすることも考えられる。

学校名	〇〇市立〇〇小学校
学校長	〇〇 〇〇
提出日	令和〇年〇月〇日

指導内容：①サバイバル日本語 ②日本語基礎 ③技能別日本語 ④日本語と教科の統合学習 ⑤教科の補習

No.	学年	児童生徒氏名	指導内容							指導時間	指導形態	指導者	
			学習段階	①	②	③	④	⑤	その他				
1	小1	〇〇 〇〇 〇〇	初期の前期	○	○						週4時間	グループ指導	〇〇 〇〇
												R2.4~	
2	小2	〇〇〇 〇〇	初期の後期		○		○				週4時間	週2 グループ指導 週2 個別指導	〇〇 〇〇
												R2.4~	
3	小2	〇〇 〇〇 〇〇	教科につながる学習			○	○				週2時間	個別指導	〇〇 〇〇
												R2.4~R2.12	
4	小		初期の前										〇
年度途中で「特別の教育課程」による指導を終了した場合は、指導期間を残しておく。													
5	小4	〇〇 〇〇	初期の前期	○	○	○					週6時間	〇〇小学校 週6 (週4 グループ学習 週2 個別指導)	〇〇 〇〇 (〇〇小教諭)
												R2.10~	
6			教科につ										〇〇 〇〇
編入など、年度途中で「特別の教育課程」による指導を開始した場合は、順次追記しておく。													
7	小6	〇〇〇 〇〇 〇〇	教科につながる学習				○	○			週2時間	(週2 グループ学習)	〇〇 〇〇 (巡回指導)
												R3.1~	
8													
9													
10													
11													
12													
日本語指導の内容を、「初期の前期」「初期の後期」「教科につながる学習」の3つの段階で大きく分けるなどが考えられる。													
①~⑤は「外国人児童生徒受入れの手引き(改訂版)」(文部科学省)p34~を参考にしている。大まかな内容で良い。													
同室複数指導(入り込み)等を行っている場合は、「その他」欄に参考に記載すること。													
本計画書を教育委員会に提出した後も、「特別の教育課程」による指導の終了時や、入学・転編入学の児童生徒に対して新しく「特別の教育課程」を始めるとき、又は学習評価などを踏まえて指導計画を変更した際など、各学校において適宜追加・修正を行い、年度の終わりに報告一覧として、教育委員会に提出すること。													